

名古屋市公立学校 教員募集

CHANGE!

魅力がいっぱい名古屋の教員



申込受付期間

令和6年4月19日(金)
～令和6年5月8日(水)

※この期間中の本登録完了分有効(インターネット申込)

| 1次試験

令和6年6月15日(土)

| 2次試験

令和6年7月20日(土)

令和6年7月21日(日)

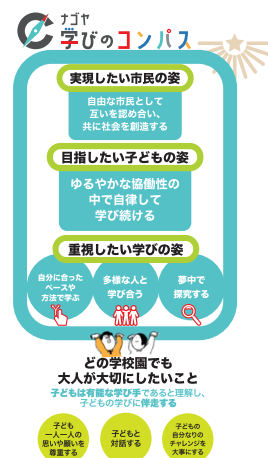
名古屋市教育委員会

名古屋の教育とサポート体制が Change! 》

なごやの新たなキャリア教育の時間「キャリアタイム」

子ども中心の学び「ナゴヤ学びのコンパス」

「ナゴヤ学びのコンパス」とは、名古屋市学校園全ての教職員及び、子どもたちに関わる全ての大人が共通認識をもって教育を進めることができるよう、名古屋市の目指す子ども中心の学びの考えを明確にしたものです。その考えを幼児期から青年期まで一貫して大切にしながら、子どもたちが、大人になっても自律して学び続けることを目指していきます。



もっと知りたい学びのコンパス Q&A

Q1 ゆるやかな協働性とはどういう意味ですか？

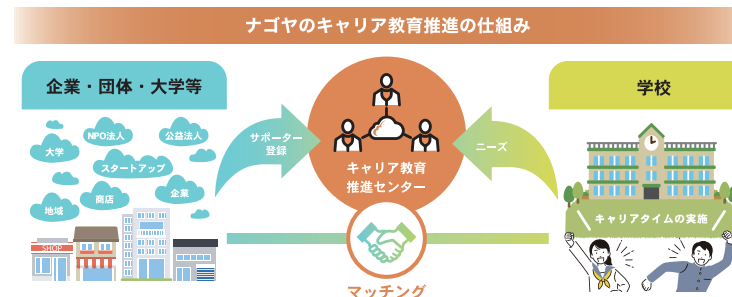
A1 分からないことがあれば、「分からないから教えて」と安心して聞くことができる。困っている子がいたら、「どうしたの？」と寄り添う。自力解決したい子がいたら、そっと見守る。そのような子どもたちの姿を「ゆるやかな協働性」としています。

Q2 学ぶ内容は変わるのですか？

A2 学ぶ内容は、学習指導要領で示されている内容であり、変わりません。共通理解したいのは、学ぶペースや方法、環境等を、成長・発達に応じてできるだけ子どもたちが自己選択・自己決定できるようにすることで、自律して学ぶようにする意欲を高めたいということです。

Q3 伴走するとはどのようにすることですか？

A3 大人は、子ども中心の学びに役立つような支援のあり方を考えることが、子どもの学びに伴走することにつながると考えています。伴走する姿の具体について3つの視点で整理しています。
(1) 子ども一人一人の思いや願いを尊重する。
(2) 子どもと対話する。
(3) 子どもの自分なりのチャレンジを大事にする。



「キャリアタイム」とは、子どもたちが「本物のヒト・モノ・コト」とであい、自分らしさや自分の生き方について探究する授業のことです。
名古屋市では、キャリアコンサルタントの国家資格をもつ専門家を「キャリアナビゲーター」として学校に配置しています。また、令和5年度には、企業や大学等と学校の橋渡し役を担う「キャリア教育推進センター」を開設しました。教員とキャリアナビゲーターが協働し、企業や大学等と連携することで、各学校の「キャリアタイム」の充実を図っていきます。

教員とともに、なごやの子どもたちを支える「なごや子ども応援委員会」

なごや子ども応援委員会は、さまざまな悩みや心配を抱える子どもや保護者を総合的に支援するため、常勤のスクールカウンセラー等の専門職を学校現場に配置しチームで活動しています。
市内を17ブロック(全16区と高等学校・特別支援学校担当)構成とし、各ブロックに活動の拠点となる事務局を設置しています。全国に先駆けて、市立中

学校110校と一部の市立高等学校に常勤スクールカウンセラーを、事務局校には1~2名の常勤スクールソーシャルワーカー、非常勤のスクールポリス、スクールセクレタリーを各1名ずつ配置しています。
さらに、主任総合援助職8名が、各ブロックを統括、管理運営したり、緊急支援組織の中心となったりしています。ま

た、幼稚園、小学校、高等学校、特別支援学校にも非常勤のスクールカウンセラーを配置し、幼少期からの途切れのない支援を行っています。



特色ある名古屋の教育「ナゴヤ・コンパス・プロジェクト」

名古屋市教育局では教育改革を市全体で推進するため、「NAGOYA School Innovation ナゴヤ・スクール・イノベーション」と銘を打ち、ゆるやかな協働性の中で自律して学び続ける子どもを育むため、大人が子どもに伴走し、「子ども中心の学

び」を進める学校づくりを推進しています。令和5年度からは、これまでの「授業改善の推進」における様々な実践と働き方改革サポート事業の成果を、5つのコンセプトで再構築した「ナゴヤ・コンパスプロジェクト」を実施しています。

市立高校における学びの改革

市立高校は、グローバル化が進む新しい時代に求められる資質・能力を育成するため、探究的な学びやSTEAM教育、国際理解教育を推進するとともに、産業界・大学・地域との連携に取り組みます。また、市立高校14校が、ICT機器やオンラインを活用し、学校の枠を越えて専門性の高い授業や特色のある授業を共有していきます。



Challenge
すすめるプロジェクト
「ナゴヤ学びのコンパス」をもとにした「子ども中心の学び」の実現に向けた実践を行います。

Creation
つくりてプロジェクト
選抜教員が、国内外の先進事例の視察研究を生かし、学校運営改善や授業改善を行います。

Collaboration
つながるプロジェクト
共通した教育目標や教育課題などに対し、複数の学校園の連携による学び合いを図りながら、主体的に学びを展開するチーム実践を行います。

Common
ひろがるプロジェクト
各学校園で「子ども中心の学び」の理念が共有され、実践の輪が広がるよう、授業公開や有識者の講演、ワークショップ等を通じて、教員のマインドセットチェンジやスキルアップ等を行います。

Change
かいてんプロジェクト
学校の当たり前を見つめ直し、子どもにとっても大人にとっても幸せな学校づくりをめざします。

これまでの策定の経緯や活動の記録、その他のQAは、名古屋市教育局のホームページに詳しく記載されていますので、ぜひご覧ください。



さらに充実！なごやの教員の力量向上をサポートする教員研修

名古屋市教育局を中心に、初任者研修をはじめとした各種研修を実施しています。力量向上を目指し、経験年数や本人の希望に応じた様々な研修を受けることができます。夏季休業中には、各教科等の基礎的な指導方法や授業ですぐに使える教材が学べる研修を自ら選択して受講することができます。受講者のニーズに応える「なごやオリジナル」の研修が多数計画されています。令和5年度は情報モラルについての講座を新設しました。また、名古屋市教育局の教員用サイトには、各教科の単元ごとの授業の方法やコツが学べる動画が用意されており、教材研究に役立てることができます。

様々な研修

初任者研修 / 2・3年目フォローアップ研修 / 5年目研修
コンピュータ研修 / アイデアいっぱい！楽しい授業づくり講座 など



アイデアいっぱい！楽しい授業づくり講座（家庭・体育）



2・3年目フォローアップ研修

Change! する名古屋の採用試験

▶ 採用試験が1か月早まります！

昨年度まで7月～8月に行われていた教員採用選考試験を令和6年度は、約1か月早めて実施します。

- ※この変更に伴い、これまで1次試験で行われていた音楽・美術・技術・家庭の実技試験は2次試験で行います。
- ※解答用紙は、全教科マークシートになります。

1次試験実施日

令和6年6月15日(土)

2次試験実施日

令和6年7月20日(土)

令和6年7月21日(日)

▶ 大学3年生等※が受験可能に！

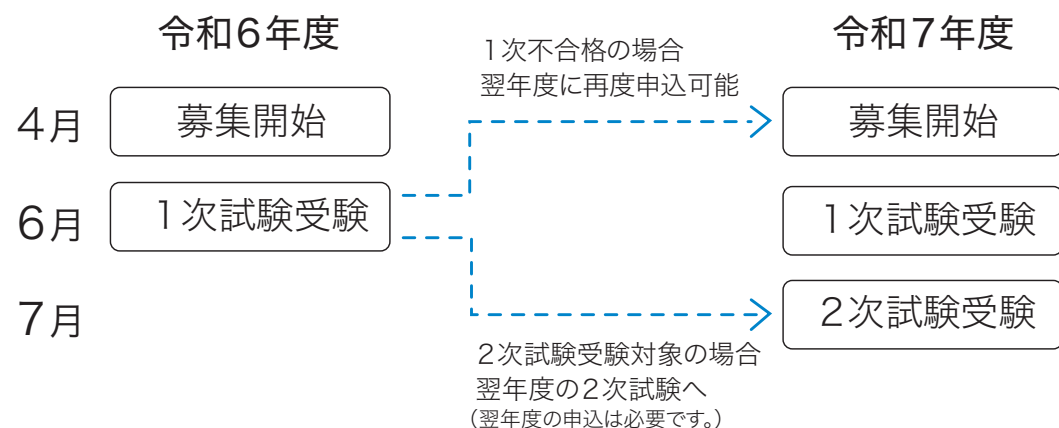
※大学・大学院・短期大学・専門学校の最終学年次の1年前の年次とする。

令和6年度の教員採用選考試験から大学3年生等の受験が可能になります。大学3年生等は令和6年度の1次試験の筆記試験を受験し、1次試験に合格すると、令和7年度の教員採用選考試験は、2次試験の面接・実技試験になります。

令和6年度に1次試験不合格だった場合は、令和7年度に再度受験申込が可能です。大学在学中に名古屋市の教員採用選考試験の1次試験を最大2回受験することができます。詳しい出願方法は、4月中旬公表予定の試験要項をご覧ください。



大学3年生等の受験イメージ



▶ 特例が拡充されます！



大学4年生対象の大学推薦の特例

令和6年度の教員採用選考試験より、大学推薦枠(特例F)を拡大し、特別支援学校教員が大学推薦の対象になります。(中学校技術、高等学校工業は継続)



特例の主な要件

受験区分・教科に対応する教員免許状取得のための課程許可を受けている大学(短期大学、大学院、教職大学院を含む)に出願時に在籍し、令和7年3月31日までに卒業(修了)見込みである人

名古屋市の教員として勤務することを第一志望とし、選考試験実施の翌年度の採用を希望する人

在学する大学の学長、または学部長の推薦が得られた人



特例の内容

1次試験の総合教養試験・専門試験の免除

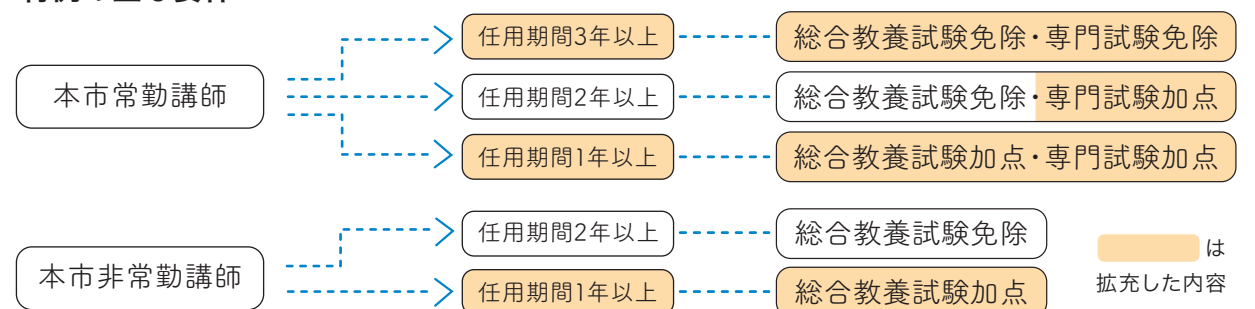


本市講師経験者に対する特例

令和6年度の教員採用選考試験より、本市常勤講師・非常勤講師経験者に対しての特例(B1)の内容を見直し、任用期間ごとに以下の特例が申請可能になります。



特例の主な要件



※令和元年度から令和6年度(5月31日まで)に上記任用期間があること。



令和5年度2次試験受験対象者に対する特例

令和5年度実施本市教員採用選考試験の2次試験受験対象者は、令和6年度実施本市教員採用選考試験の1次試験を免除します。



特例の要件

受験対象となった選考区分・教科に出願すること。



特例の内容

1次試験の免除

※令和5年度実施の1次試験と令和6年度実施の2次試験の結果ならびに提出書類を総合して最終選考をします。

※令和6年度実施教員採用選考試験時、採用予定がない教科には、本特例は適用されない。

Change! した名古屋の働き方 >>

ここ数年の働き方の変化について先輩教員に聞きました



高等学校
教員 6年目

デジタル採点システムを導入したことで、採点時間は半分以下に短縮されました。小さなことかもしれませんが、たくさんの紙を一枚一枚めくる必要がなくなっただけでも負担が大きく減りました。テスト返却はスピーディーかつ、正確であることが求められます。システムを導入したことにより、どちらも無理なく達成することが出来るようになったのは大きな改革だと感じています。

Change!

令和5年度より市内の全ての中学校・高等学校でデジタル採点システムを導入しました。これにより定期テストの採点に係る事務作業の時間を大幅に削減しています。

部活動に携わっていた頃は、教室では見ることのできない児童の一面を見ることができ、良かったなと思うこともありますが、部活動が外部委託となったことで、授業後に仕事をする時間を大幅に確保することができ、帰宅する時間がとても早くなりました。

小学校
教員 5年目



Change!

令和3年度より、教員が指導していた小学校の部活動を民間委託による「新たな運動・文化活動」に移行しました。これにより、授業後の事務処理の時間をしっかりと確保することができるようになりました。また、土日に対外試合で生徒を引率することともなくなりました。中学校の部活動についても、国の動向をふまえて改革を進めます。



幼稚園
教員 5年目

定時退園日には撮りためていたドラマを見たり、スイーツを食べたりしてリフレッシュしています。そして、いつもよりも早く寝て、翌日からの保育に備えます。仕事をする上で、食事と睡眠は大切だなと強く感じています。

Change!

名古屋市では、学校・園ごとに定時に退校する日を設定しています。また、夏休み中の学校閉庁期間を5日間設定し、休暇を取得しやすくしています。

栄養指導の際に今までは、写真を使っていましたが、動画にすると子どもたちがより一層興味をもってくれる手ごたえがあるので、動画教材を作成し、活用しています。ロイロノートなどのツールを活用することで、作った料理の、写真を集めることも簡単になりました。



栄養
教員 6年目

ICT機器を活用して、全校に関する情報共有をしています。毎朝の打ち合わせが短縮されるおかげで、余裕をもって生徒を受け入れることができています。また、授業では生徒が自身の意見を伝えることができるように、選択肢にイラストなどを用いたり、動画や音声などを活用したりして、分かりやすくなるように意識しています。



特別支援
教員 4年目

英語の授業では、生徒が表現したことをタブレットに録画し、後で視聴する活動を取り入れています。生徒自身に自分の表現のよい点や課題点に気付かせる上で大変有効だと感じています。



中学校
教員 6年目

タブレットで当日の児童の欠席を集約できるようになりました。朝の電話対応が減り、児童が登校する前から出欠を確認できるため、学級閉鎖や早退等の対応を早くから考えておくことができるようになりました。



養護
教員 5年目

Change!

名古屋市では、既に教員の一人1台タブレット配布が完了しており、それを使った授業や事務負担軽減が行われています。また、ICT支援員を配置し、教員の補助をしています。ICTを効果的に活用した授業を行うための研修も行われており、教員のICT活用が進んでいます。

🔍 昨年度の受験者数・合格者数

令和5年度 名古屋市公立学校教員採用選考試験 最終選考結果

区 分		受験者数	合格者数	補欠者数
小学校		637	247	18
中学校・高等学校	国語	77	18	3
中学校	社会	96	15	1
中学校・高等学校	数学	92	11	2
中学校・高等学校	理科	63	26	3
中学校	音楽	38	5	
中学校・高等学校	美術	26	3	1
中学校・高等学校	保健体育	144	19	
中学校	技術	7	5	1
中学校・高等学校	家庭	25	7	
中学校・高等学校	英語	105	27	3
高等学校	地理・歴史	34	5	
高等学校	工業	16	4	
高等学校	商業	5	4	
幼稚園		32	4	
養護教員		133	15	1
特別支援学校		80	46	
栄養教員		36	1	
合 計		1646	462	33

以下のリンクから、名古屋市教育委員会が作成した動画がご覧いただけます。

- ・名古屋市の魅力
- ・特色ある授業や教育施設
- ・充実した研修制度
- ・一般的な教員の一日

などについて、紹介しています。

動画「名古屋の学校」
先生と未来にはばたく
なごやっ子たち



📝 申し込みについて

申込はインターネットから行ってください→【名古屋市電子申請サービス】

試験についての詳細は、名古屋市公式ウェブサイトから閲覧してください。

申込期間内中（令和6年4月19日（金）～ 5月8日（水））に、名古屋市電子申請サービス（<https://ttzk.graffer.jp/city-nagoya>）にアクセスし、順次画面の指示に従ってください。

詳しくは、名古屋市電子申請サービスの画面や電子メールの指示に従ってください。

インターネットで申込ができない場合

試験要項にある「申込書の請求手続き」に従って、紙の「試験要項」と「申込書」を請求してください。



🔍 名古屋市公式
ウェブサイト



🔍 名古屋市電子
申請サービス

障害者特別選考試験を実施します

🔍 受験対象

選考区分に応ずる教諭普通免許状を所有または令和7年3月31日までに取得見込みで、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている人。
大学3年生等に該当する人も受験可能。（教諭普通免許状を令和8年3月31日までに取得見込みの人）

📝 試験内容

1次試験では総合教養、2次試験では口述（集団面接）を実施しません。
試験の対象者・内容についての詳細は、試験要項をご覧ください。